

第 7 回(2025 年度)支援対象活動及び実施者等の計画書（案）

1 槌野川河口干潟再生活動 2025

(1) 活動計画

団体名	樌野川流域連携促進協議会、干潟・水産資源再生ワーキンググループ、持続可能な里海づくりワーキンググループ
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 干潟環境の向上・保全、景観の保全、 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動、 <input checked="" type="checkbox"/> 活動等の広報及び啓発活動、 <input checked="" type="checkbox"/> 募金の運営・広報
活動目的	地域住民・企業・大学等のボランティアの協力を受け、アサリ再生活動等を実施し、干潟環境の改善を図るとともに、地域住民等の親水性の向上等に寄与する。 また、干潟や活動等の普及啓発を行うとともにふしの干潟いきもの募金に対する住民等からの寄附の促進を図る。
活動場所	樌野川河口干潟（南潟）、旧山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所
活動内容 ・計画	2008 年度から南潟において住民参加型の干潟再生活動（干潟耕耘等）を実施している。活動は、例年春にイベント形式で開催し、地域住民、企業、大学等の多くのボランティアの協力を受けています。2025 年度は以下のとおり実施する。 <イベントの概要> <ul style="list-style-type: none">● 実施日：2025 年 4 月 26 日（土）● 場 所：樌野川河口干潟（南潟）、旧山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所● 主 催：樌野川流域連携促進協議会、山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所● 協 力：あいおいニッセイ同和損害保険（株）、あいおいニッセイ同和山口支店プロ会、（株）伊藤園山口支店、水産大学校、山口大学等● 参加者：150 人程度（募集）● 内 容<ul style="list-style-type: none">・樌野川の恵みを味わう試食会（山菜の天ぷら）・寄附付き商品の販売、募金活動・アサリ再生活動（被覆網のメンテナンス、アサリ稚貝の保護・育成）・生き物観察会

(2) 活動予算

申請金額	150,000 円 <input checked="" type="checkbox"/> 精算払い (150,000 円)	
応募案内中の表 1：①～⑦の項目ごとに記入してください。		
支出予算	区分	予算額(円)
	印刷費	4,000
	保険料	5,000
	備品・消耗品費	30,000
	備品・消耗品費	20,000
	備品・消耗品費	60,000
	備品・消耗品費	21,000
	備品・消耗品費	10,000
	合計	150,000

2 カブトガニ幼生生息調査・観察会

(1) 活動計画

団体名	カブトガニワーキンググループ、環境学習ワーキンググループ
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング
活動名	カブトガニ幼生生息調査・観察会
活動目的	山口湾は、絶滅危惧 I 類「カブトガニ」の産卵場・生息場として全国的にも重要な地域である。干潟におけるカブトガニ幼生の生息状況等を調査することで、生息や産卵に適した環境の再生・保全に寄与する。
活動場所	山口湾干潟（長浜・南潟）
<概要>	<p>長浜及び南潟において、夏季の干潮時に年 1 回ずつ、県内外のボランティアや山口大学等の協力を受け、カブトガニ幼生の生息状況を調査する（平成 20 年度（2008 年度）から継続）。</p> <p>また、子ども等を対象にしたカブトガニ観察会を開催し、山口湾の自然や生き物に対する関心を高めるための啓発を行う。</p>
<調査方法>	<p>調査は、ベルトランセクト法により実施する。区域内に 1km の調査ラインを複数（長浜区：20 ライン、南潟区：5 ライン）設定し、調査者は、ライン上を歩きながら、発見したカブトガニの①個体数、②前体幅（齢数を推定するため）、③発見地点（GPS を使用）を記録する。長浜の調査は 9 月上旬に 50 人程度で、南潟の調査は 9 月中旬に 20 人程度で実施する。</p> 
活動内容 ・計画	

(2) 活動予算

申請金額	100,000 円 <input checked="" type="checkbox"/> 精算払い（100,000 円）	
応募案内中の表 1：①～⑦の項目ごとに記入してください。		
区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)
保険料	2,400	参加者の傷害保険代（20 円 × 120 人）
備品・消耗品費	14,000	飲料（100 円 × 140 本）
備品・消耗品費	30,000	アイススラリー等購入費（250 円 × 120 人）
備品・消耗品費	3,600	調査用の事務用品、電池、冷却材等
備品・消耗品費	20,000	生き物観察会用資材購入費
備品・消耗品費	30,000	熱中症対策用資材購入量
合計	100,000	

3 アマモの再生活動およびアマモ見学会の開催

(1) 活動計画

団体名	ブルーカーボンワーキンググループ
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング <input checked="" type="checkbox"/> その他、干潟等の保全・再生に関すること。
活動名	アマモの再生活動およびアマモ見学会の開催
活動目的	山口湾に存在するアマモ場についてその拡大を図るための調査および一般市民に見学会を実施する。
活動場所	山口県山口市秋穂二島（岩屋海岸）
活動内容 ・計画	<p><概要></p> <p>2025年4月 第1回WG予定 2025年4月 被覆網によるブルーカーボン貯留量の検討開始 2025年4月29日 岩屋海岸で花枝を採取する 2025年5月25日 採取した花枝を網に入れて沖合で養生しておき、市民が漁網に結束して設置する。同時にアマモの見学会を実施する。小学生以下は生物見学会とする予定である。マルチスペクトルUAV、音響測深でアマモ場の面積を測定する。 2025年8月瀬戸内海研究会議で発表（ブルーカーボンWGから1名） 2026年2月 被覆網によるブルーカーボン貯留量評価を行う</p>

(2) 活動予算

申請金額	50,000円 <input checked="" type="checkbox"/> 精算払い(50,000円)	
応募案内中の表1:①~⑦の項目ごとに記入してください。		
支出予算	区分	予算額(円)
	備品・消耗品	20,000
	旅費・交通費	20,000
	保険料	5,000
	備品・消耗品費	5,000
	合計	50,000